

在宅取組型(小学校)

学校名等	大垣市立小野小学校
実施日時	令和3年5月7日(金)~6月13日(日)
会場	各家庭
参加人数	685世帯の親子(児童885名)
学習課題(分野)	折り紙アートを作ろう(自立心・家族の大切さ)
運営者の願い	新型コロナウイルス感染症の収束を願い、折り鶴を作ってもらう中で、親子のコミュニケーションを深めてもらうことや、全員で1つのものを作り上げる喜びを感じてほしい。



<取組の流れ>

- ・ 児童1人あたり折り紙を5枚配布し、家庭で折り鶴を作ってもらう。
- ・ (あらかじめどんな絵にするか決めておき、使用する色や量を予測して振り分け、配布した。)
- ・ 折り鶴回収後、役員で貼り合わせ、1つの大きな折り鶴アートを完成させた。
- ・ (完成までの制作時の様子をタイムラプスで撮影して、動画を公開した。)
- ・ 蛍のピオトープ開放期間と、スポーツ集会(学校行事)に掲示出来た事で、児童だけではなく、多くの保護者の方にも見て頂けた。
- ・ QRコードの読み取りから、アンケート調査をして、感想を書いてもらった。
- ・ その後は、校舎内廊下に掲示し、実施期間を過ぎても見る事が出来るようにした。



【完成した折り紙アート】

<児童の感想>

- ・ 私の作った鶴が、ホテルの体になってすごいと思いました。
- ・ 小野小学校らしい素敵なアートでした。
- ・ 最初はどんなものが出来るのか想像が付きませんでした。出来上がりを見てとても綺麗で驚きました。

<保護者の感想>

- ・ 学年が上がると一緒に作業する事がなくなっていくので、一緒に折り鶴折るのは楽しかったです。
- ・ 子どもたちも自分たちで折った鶴がこういう形になって、参加できたことに誇りがもてると思う。
- ・ とても綺麗で感動しながら絵を見ていると、低学年の女の子が「見せたいものがあるの。」と、ご両親の手を引っ張り、まるで自分の絵のように嬉しそうに話している姿を見かけました。子どもたちを上手に巻き込まれた結果ではないでしょうか。こちらまで感動しました。



製作過程の動画配信

直接学校で見ることが出来ない方も、動画配信をすることでたくさんの方に見ていただく事が出来ました。



みんなの協力あつての取組
「自分もこのアートを作ったんだ!」「みんなで作り上げたんだ!」という達成感を感じてもらうことが出来ました。



小野小学校らしい作品

ホテルの保護育成活動に取り組んでいる、小野小学校らしい作品が出来ました